

10/6(火) の発表

はじめよう、つづけよう。

「新北海道スタイル」



～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 新北海道スタイル

報道発表資料の配付日時

10/6(火)

15時00分

発表項目 (行事名)	(週報) 腸管出血性大腸菌感染症の発生について (週報) 細菌性赤痢の発生について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施場所) 月 日 ( ) 時 分～	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○詳細については別紙のとおり</p> <p>◆週報 (腸管出血性大腸菌感染症 (3類感染症) の発生について) …別紙1 室蘭保健所、渡島保健所、富良野保健所、帯広保健所、中標津保健所</p> <p>◆週報 (細菌性赤痢 (3類感染症) の発生について) …別紙2 帯広保健所</p>		
参考			

報道 (取材) に当たっての お願い	<p>本公表は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第16条の規定に基づき、個人情報の保護に留意の上、感染症の発生状況等に関して必要な情報を公表するものです。 つきましては、報道に当たって、個人のプライバシー等の保護のため特段のご配慮をお願いします。</p>		
他のクラブ との関係	同時配布	(場所)	
	同時レク	室蘭保健所、渡島保健所、富良野保健所、帯広保健所、中標津保健所	

担当 (連絡先)	保健福祉部健康安全局地域保健課感染症対策係 (担当: 山下)		
	電話	(代表)	011-231-4111 (内線25-506)
		(ダイヤルイン)	011-204-5253

## 腸管出血性大腸菌感染症の発生について（週報）

令和2年（2020年）10月6日（火）15：00  
 北海道保健福祉部健康安全局地域保健課  
 TEL：011-231-4111（内線：25-506）  
 FAX：011-232-2013

令和2年（2020年）第40週（9月28日（月）～10月4日（日））に、室蘭保健所、渡島保健所、富良野保健所、帯広保健所及び中標津保健所管内で腸管出血性大腸菌感染症が発生したのでお知らせします。

記

## 1 発生の概要

	保健所	区分	性別等	発症日及び 主な症状	受診日	保健所 確認日	現在の状況	備考
①	室蘭	無症状病原 体保有者 (O157)	女性 (10歳代)	症状なし	—	9月29日 (火)	—	—
②	室蘭	患者 (O157)	男性 (20歳代)	9月20日(日) 下痢、腹痛、 血便	9月26日 (土)	9月30日 (水)	快方に向かっ ている。(入院は していない。)	—
③	渡島	患者 (O157)	男性 (幼児)	9月23日(水) 血便、腹痛、 下痢	9月27日 (日)	9月30日 (水)	入院していたが 回復し、既に退 院している。	—
④	富良野	患者 (O157)	女性 (80歳代)	9月28日(月) 腹痛、血便	9月30日 (水)	10月2日 (金)	入院中であり、 快方に向かっ ている。	—
⑤	帯広	患者 (O157)	女性 (30歳代)	9月24日(木) 腹痛、水様性 下痢、血便	9月25日 (金)	9月29日 (火)	快方に向かっ ている。(入院は していない。)	—
⑥	帯広	患者 (O157)	女性 (20歳代)	9月23日(水) 腹痛、水様性 下痢	9月25日 (金)	9月30日 (水)	快方に向かっ ている。(入院は していない。)	—
⑦	中標津	患者 (O157)	女性 (70歳代)	9月25日(金) 血便、水溶性 下痢	9月25日 (金)	9月29日 (火)	入院中であり、 快方に向かっ ている。	—
⑧	中標津	無症状病原 体保有者 (O157)	男性 (70歳代)	症状なし	10月5日 (月)	10月4日 (日)	—	患者⑦の 接触者

## 2 対応

- ・家族等の健康調査
- ・患者及び家族等の喫食調査
- ・家庭等における手洗いの励行及び消毒等の清潔保持の指導

## 3 その他

この件については、本日15時00分、所管保健所においても資料配付を行っています。  
 <報道に当たっては、個人のプライバシー保護のため、特段の御配慮をお願いします。>

## 腸管出血性大腸菌感染症とは

概要：ベロ毒素を産生する大腸菌によって引き起こされる感染症であり、下痢、激しい腹痛、血便、発熱等が主な症状である。

また、病原体を保有していても症状がない場合もある。(無症状病原体保有者)

感染経路：汚染された食品や、感染者の便が口に入ることによって感染する。(経口感染)

分類：感染症法では三類感染症に定められている。

潜伏期間：3～5日が多いが、1週間以上の場合もある。

予防策等：手洗いの徹底による二次感染の防止、食品の十分な加熱等。

【参考】腸管出血性大腸菌感染症の道内における発生状況（2020年） 10月4日（日）時点

区分/O抗原型	1	4	8	25	26	86	91	103	111	121	124	125	128	145	146	157	166	不明	合計
患者			1		8		2	2	5	1				1	1	48		12	81
無症状病原体保有者	1		1		6	1	3	3	1		1	1	2		1	11	1	16	49
計	1		2		14	1	5	5	6	1	1	1	2	1	2	59	1	28	130

(単位：人)

※ 札幌市、旭川市、函館市、小樽市分を含む

※ 全道の状況については、北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。

(<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>)

## 細菌性赤痢の発生について（週報）

令和2年（2020年）10月6日（火）15：00  
 北海道保健福祉部健康安全局地域保健課  
 TEL：011-231-4111（内線：25-506）  
 FAX：011-232-2013

令和2年（2020年）第40週（9月28日（月）～10月4日（日））に、帯広保健所管内で細菌性赤痢が発生したのでお知らせします。

## 記

- 1 発生の探知
  - (1) 9月29日（火）に、帯広保健所管内の医療機関から細菌性赤痢の患者が発生した旨、同保健所に届出があった。
  - (2) (1)の患者の接触者を、保健所において9月30日に検査したところ、10月3日（土）に感染を確認した。
- 2 発生の概要
  - (1) 帯広保健所管内の女性（小学生）1名が9月22日（火）から発熱、下痢、腹痛、血便症状を呈し、同保健所管内の医療機関を受診し、検査及び治療を受けた。
  - (2) 9月29日に届出のあった(1)の患者の接触者（男性40歳代）を、9月30日に検査したところ、10月3日（土）に感染を確認した。
- 3 現在の状況  
2名とも、快方にむかっている。
- 4 経過
  - (1) 9月22日（火） 発熱、下痢、腹痛、血便症状の出現  
       23日（水） 医療機関Aを受診し、治療を実施  
       27日（日） 医療機関Bを受診し、検査及び治療を実施  
       29日（火） 医療機関Bより細菌性赤痢の発生届を受理
  - (2) 9月30日（水） 保健所において検査を実施  
       10月3日（土） 病原体の検出を確認
- 5 対応
  - ・ 家族等の健康調査及び便検査
  - ・ 感染者及び家族等の喫食調査
  - ・ 家族等における手洗いの励行及び消毒等の清潔保持の指導
- 6 その他  
この件については、本日15時00分、所管保健所においても資料 配付を行っています。  
 ＊報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため、特段の御配慮をお願いします。

## 細菌性赤痢とは

区分：赤痢菌による感染症であり、感染症法では三類感染症に定められている。  
 症状：1～5日の潜伏期間の後に、発熱、下痢、腹痛が見られ、重い場合はテネスマス（しぶり腹；便意は強いがなかなか排便できないこと）、膿・粘血便（便に膿・粘液・血液が混じる）が見られることがある。  
 感染経路：汚染された食品や水などの摂取、細菌が付着した手や食器などを介した感染（経口感染）  
 予防方法：手洗い、食品の十分な加熱調理、不衛生な水や食品を口にしない  
 疫学：世界中に広く見られる感染症で、特に衛生状態の悪い国に多く見られる。

## 【細菌性赤痢の発生状況（過去10年）】

令和2年（2020年）10月6日（速報値）

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
北海道	0	1	1	0	4	0	3	15	8	4
全国	300	214	143	158	156	121	141	268	140	59

(単位：人)

＊政令市（札幌市・函館市・小樽市・旭川市）及び本日発表分を含む。

＊全道の発生状況については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。

(<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>)